

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		下水道事業会計 [公共下水道雨水整備事業]									
予算科目	款	21	下水道事業費用	項	1	営業費用	目	1	管渠費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	下水道 課 公共下水道雨水整備等担当 係					課長名	廣瀬 裕				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 6		
【施策名】 防災・防犯体制の推進								総合計画書 (ページ)	93		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	公共下水道雨水管 →					公共下水道雨水整備事業実施					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 公共下水道雨水整備事業実施のため、計画等を策定する。 ① 基本計画の見直し ② 都市計画決定変更 ③ 雨水事業の認可 ④ 基本設計 →					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 都市計画決定(変更) 図書の作成(計画面積1,009ha)					
③ そのために何をしましたか。 ・過去の都市計画決定等の実施状況調査 ・都市計画決定図書の作成 ・空堀川上流域雨水幹線整備に伴う調整業務(東京都下水道局、流域関連市や市都市計画課との調整) →					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ・過去の都市計画決定等の実施状況調査 ・都市計画決定図書の作成 一式(計画決定面積1,009ha) ・東京都及び関係市等との打合せ実施(20回)						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	事業		1	1					
	成果指標	②の数値	事業		1	1					
	目標	②の目標値	%		100	100					
目標値設定の考え方 空堀川上流雨水幹線整備事業に合わせ、公共下水道雨水管の基本計画の見直しを実施する。											
活動指標		③の数値	%		100	100					
3 経費	事業費(実績)		円		13,172,500	6,333,800		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円		13,172,500	6,333,800					
		特定財源(国・都・他)	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人		1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)		円		8,380,000	8,250,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円		21,552,500	14,583,800						
4 環境変化等	(1) 開始年度		令和2 年度								
	(2) 環境の変化 ・空堀川上流雨水幹線事業は当市及び立川市、武蔵村山市の3市による東京都への要望により実施することが決定された。空堀川上流雨水幹線事業の実施に伴い幹線の排水区分の既存雨水管の切替え及び接続等、進捗に併せた工事の実施が必要となる。また、空堀川上流雨水幹線の各工区完成後は暫定貯留を行うため、暫定管の接続工事を実施する。 ・空堀川上流雨水幹線との接続箇所や接続方法等については、東京都の実設計計によって決定される。										

事業名称	下水道事業会計 [公共下水道雨水整備事業]		
担当部署・課長名	下水道	課 公共下水道雨水整備等担当 係	課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	・特に無かった。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）		
	・東京都実施事業の進捗に合わせてるように市公共下水道雨水事業を進める		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。		
・東京都や関係市との調整を密にとり事業を進めた。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
・引き続き東京都や関係市との連絡調整を密にとる必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 防災・防犯体制の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 引き続き東京都施工の空堀川上流雨水幹線整備事業の進捗に併せた各種計画策定を行う。		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
都及び流域関係市との連絡、調整等を密に行い状況変化に対応する。			